

日本財団 スポンサード・セッションのご案内

テーマ

乳幼児期の施設養育がもたらす子どもの発達への影響について
～“チャウシェスクの子どもたち”
ブカレスト早期介入プロジェクト (BEIP) からの教訓～

Are There Sensitive Periods for the Effects of Early Experience on Cognitive and Social Competence?
Lessons from the Bucharest Early Intervention Project

講師

ネイサン・A・フォックス氏 (米国 メリーランド大学教授)

Dr. Nathan A. Fox, University of Maryland

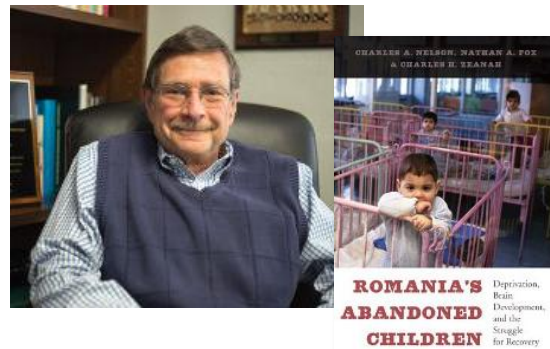
指定討論：藤林武史
(福岡市子ども総合相談センター所長)

日時

2014年 9月14日 (日)
9:20～10:50

会場

白鳥ホールA
(名古屋国際会議場4号館1階)



1989年にチャウシェスク政権が崩壊した時、ルーマニアには10万人以上の子どもたちが大型施設にあふれていました。ブカレスト早期介入計画 (Bucharest Early Intervention Project : BEIP) は、この「チャウシェスクの子どもたち」について、乳幼児期の施設養育が子ども達の発達に及ぼす効果を長期的に検証した初めての無作為実験です。子どもたちは家族/里親によるケアを受けるグループと施設に残るグループとにランダムに分けられ、42か月、54か月、8歳、12歳の時点で認知、社会的な感情、心理、脳の発達など多面的な領域の追跡調査が行われました。また第3のグループとして、ブカレスト市内に住む施設に収容されたことのない子どもたちが採用されました。研究の結果、より早く家庭的な環境で育つ方が、子どもにとってより健全な発達であることが明らかとされています。私たち日本人がこの研究から何を学ぶことができるのか、一緒に考えてみませんか？

参加方法

子ども虐待防止世界会議 名古屋2014参加者の方は、どなたでも参加可能です。
(会議参加者以外の一般からの参加は、受け付けておりません)

子ども虐待防止世界大会 名古屋2014に参加をご希望される方は、
下記ホームページをご覧ください。

第20回 ISPCAN・JaSPCAN 子ども虐待防止世界会議 名古屋2014
<http://www.ispcancongress2014.org/>



企画・問合せ：日本財団 ハッピーゆりかごプロジェクト 事務局

E-mail : tokubetsu_youshi@ps.nippon-foundation.or.jp

TEL : 03-6229-5111 / FAX : 03-6229-5160 HP : <http://happy-yurikago.net/>

Facebook : <https://ja-jp.facebook.com/happy.yurikago>

「ハッピーゆりかごプロジェクト」は、産みの親がなんらかの事情で育てることができない子どもたちが、特別養子縁組のできる限り早く愛情のある家庭で育つことのできる社会を目指しています。